



てるてひめ 照手姫伝説

てるてひめ そうだっせん てるて姫争奪戦



中央区 中央区 むかしばなし

でいらぼっち伝説



なんのために運んだの?

～あらすじ～

絶世の美女てるて姫はこの地の豪族の横山将監の娘で、敵方の武将、小栗判官と恋に落ち、ある夜、館を抜け出してしまいます。将監は怒り、戦を仕掛けますが、横山方は敗れ、これを聞いた姫は大層悲しみました。

※一説であり、様々な物語があります。

横山丘陵緑地



緑地内の道は「てるて姫の里ロマン探訪の小路」とされています。散策路が整備され、伝承にまつわる石碑も設置されています。

てるて姫物語



姫の顔をかたどり、あんこをしっとりとした生地で包んだ優しい味の和菓子です。



～あらすじ～

昔「でいらぼっち」という巨人がおり、富士山を背負ってきて休んでいました。そうしている間に、富士山に根が生えて動かなくなり、「でいらぼっち」は悔しさのあまり地団駄を踏みました。その時の跡が沼となって現在の鹿沼公園の池になっています。

※同様の伝承は市内各地の沼にあります。

鹿沼公園



公園内には伝承の池やスポーツ施設、児童交通公園などがあります。

菖蒲沼



伝承では「でいらぼっち」が富士山を持ち上げようとしたときに、めり込んだ右足が菖蒲沼になったとされ、跡地として石碑が設置されています。

